ディスカッション・トピックス：「ドルは基軸通貨であり続けるか？」

ドルが基軸通貨であり続けるには、アメリカが経常赤字を出し続け、世界にドルを供給しなければなりません。しかし、トランプ大統領は保護主義的な政策により、赤字を縮小しようとしています。これはドルの供給を制限し、基軸通貨としての土台を揺るがしかねませんが、同時にドルの信認を守ることもつながる（かもしれない）というパラドックス（流動性のジレンマとは逆方向のジレンマ）をはらんでいます。

また、各国がドルの「法外な特権」を甘受してきた背景には、世界の安全保障やリベラル国際秩序(LIO)におけるアメリカの「公共財の供給者」としての役割への期待がありました。しかし、トランプ政権のMAGA的外交姿勢はこの期待を裏切りつつあり、一部の国では、外貨準備の多様化やドル建て資産の売却といった「脱ドル化」の動きも見られます。

こうした状況を踏まえて、以下の仮想シナリオの中から、最も現実的と思うものを1つ選び、なぜそのシナリオが最も現実的だと考えるのかを説明してください（必要に応じて、新しい第4のシナリオを提案しても構いません）。また、シナリオの中で第2期トランプ政権が果たす可能性のある影響についても触れてください。

1. ドル支配継続シナリオ
2. 多極化シナリオ（人民元・ユーロ・円など）
3. ドル凋落シナリオ

以 上